

第2学年 音楽科

まつさかしりつまつえしょうがっこう
松阪市立松江小学校



【学習目標】

- ・曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。
- ・音楽表現を考えて表現に対する思いをもつことや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。
- ・楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。

【学習を進めるにあたって】

使用教材		
教科書	「小学生のおんがく 2」	(教育芸術社)
副教材		

持ち物	
教科書	鍵盤ハーモニカ

【学習の約束】

○積極的に発表して自分の考えを伝えましょう。
○楽器を大切に使いましょう。
○よい姿勢で歌いましょう。
○音楽を楽しみながら聴きましょう。
○学習の用意をわすれないようにしましょう。
○次の学習の準備をしてから休みましょう。
○チャイムと同時に、授業を始められるようにしましょう。
○呼ばれたら、大きな声ではっきりと返事をしましょう。
○席をはなれる時は、いすを入れましょう。

【^{がくしゅうないよう}学習内容】

^{ぜん} 前 ^き 期	^{こう} 後 ^き 期
1. 音楽 ^{おんがく} でみんなとつながろう 2. はくのまとまりをかんじとろう 3. ドレミであそぼう 4. せいかつ ^{なか} の中にある音 ^{おと} を楽しもう ^{たの} 5. リズムをかさねて楽しもう ^{たの}	6. くりかえしを見 ^み つけよう 7. いろいろながっきの音 ^{おと} をさがそう 8. ようすをおもいうかべよう 9. 日本 ^{にほん} のうたでつながろう 10. みんなであわせて楽しもう ^{たの} ※子どもたちの様子 ^{ようす} や社会情勢 ^{しゃかいじょうせい} 、他の行事 ^{ほかぎょうじ} との関係 ^{かんけい} で学習 ^{がくしゅう} する順序 ^{じゅんじょ} を変える場合があります ^{かばあい} 。

【^{ひょうか}評価^{かんてん}の観点^{ばめん}および^{ほうほう}場面・方法】

^{ひょうか} 評価 ^{かんてん} の観点			^{ひょうか} 評価 ^{ばめん} の場面・方法 ^{ほうほう}
知識 ^{ちしき} ・技能 ^{ぎのう}	歌う・演奏 ^{えんそう} する	様子 ^{ようす} や気持ち ^{きもち} を想像 ^{そうぞう} して歌 ^{うた} ったり、リズムに合 ^あ わせて演奏 ^{えんそう} したりする。	授業 ^{じゅぎょう} の様子 ^{ようす} 歌 ^{うた} のテスト 鍵盤 ^{けんばん} ハーモニカテスト
思考 ^{しこう} ・表現 ^{ひょうげん} ・判断 ^{はんだん}	工夫 ^{くふう} する ・聴 ^き く	豊かな発想 ^{はつそう} をし、演奏 ^{えんそう} の仕方 ^{しかた} を工夫 ^{くふう} する。 音楽 ^{おんがく} を聴 ^き いて、そのよさや楽しさ ^{たのしみ} を感じ ^{かん} じとる。	授業 ^{じゅぎょう} の様子 ^{ようす} 発言 ^{はつげん} ・発表 ^{はっぴょう} 鑑賞 ^{かんしょう} 歌 ^{うた} のテスト 鍵盤 ^{けんばん} ハーモニカテスト ワークシート
取 ^と り組 ^く む態 ^{たい} 度 ^ど	主 ^{しゅ} 体 ^{たい} 的 ^{てき} に学 ^{がく} 習 ^{しゅう} に態 ^{たい} 度 ^ど	主 ^{しゅ} 体 ^{たい} 的 ^{てき} に音楽 ^{おんがく} の学 ^{がく} 習 ^{しゅう} にとりくむ。 ・学 ^{がく} 習 ^{しゅう} したことや経 ^{けい} 験 ^{けん} したことを生 ^い かして音楽 ^{おんがく} の学 ^{がく} 習 ^{しゅう} にとりく組 ^く もうとしている。 ・楽 ^{たの} しく音楽 ^{おんがく} に関 ^か わり、身 ^み の回 ^{まわ} りの様 ^{さま} 々 ^{ざま} な音楽 ^{おんがく} に親 ^{した} しもうと している。	授業 ^{じゅぎょう} の様子 ^{ようす} 発言 ^{はつげん} ・発表 ^{はっぴょう} ワークシート(ふり返 ^{かえ} り)